

# わかった！できた！



令和元年6月13日 No.2

## ○「学力フォローアップ校事業」第1回校内研修がありました。

令和元年6月6日（木）に第1回目の校内研修がありました。

今回は、6年1組で「分数÷分数」の授業を通して、児童が「わかった・できた」を実感できる授業づくりに向けて、有意義な研究協議が行われました。研修で得た成果や課題をこれからの取組に生かしていきたいと思えます。

### 研究協議（○成果 ▼課題）

- 導入の工夫がよい。色水を使ったことで視覚支援になっている。
- 個別の対応を必要とする児童に対する担任の声かけで、児童が意欲的に学習に向かっていた。
- 算数用語の確認も良かった。割られる数など
- ワークプリントが有効であった。
- まとめをみんなで作りあげようとする点が参考になった。
- 担任と児童の信頼関係がある。大げさではなく、褒められていることへの安心感がある。
- ペアの時間を与えられて話し合う姿は、先生が大切にしていることだと感じた。
- 白い画用紙を裏返すと、分数が出てきたことは良かった。
- ▼9/15の誤答をもっと取り上げ、思考を深める必要があった。
- ▼ペアトークができない児童もいたので、ペアトークの方法を考える必要もある。
- ▼面積図の塗り方がちがう児童の考えを取り上げて、考えを深める方法もある。
- ▼まとめにおいて、語彙が少ない児童にとって、うまく言えない児童もいるので、その点をフォローできる掲示物などを利用する必要もあった。
- ▼実演と塗るところが分からない児童のためには、実演で塗ってみる必要があった。
- ▼ワークプリントの違いに戸惑う児童もいた。同じプリントに思っている児童もいた。



## 指導助言

(義務教育指導課 玉木 昌知 指導主事) (広島県西部教育事務所 舞 慎一 指導主事)

- 児童との信頼関係ができています。
  - まとめのとき、ほぼ全員の顔が上がっていた。
  - 何とかまとめよう、考えようという姿勢が見られた。
- 適切なタイミングで分かるように声をかけていた。
- 導入が素晴らしかった。
  - 児童が算数に向かう言葉が非常に出ていて、やる気が感じられた。
  - 先生の作戦・戦略を持って指導されていることが分かった。
- 1年を通した戦略を持って指導に取り組んでいる、その中での2ヶ月だと思った
- 大事なところは、今日のゴールの姿を具体化していく。
  - できそうなところ、できなさそうなところの実態と手立てが明確だった。
- 一人で全員に関わるというより、他の先生達にたくさん関わって欲しい。
- 下の学年で頑張ってきたことは、しっかり受け継ぐという意識で頑張してほしい。
- みなさんのチームワークを非常に感じた。